

APAC

添付文書電子化を初議論

アジアの共通基盤確立へ

第10回アジア製薬団体連携会議が13日にオンライン上で開かれた。今回、新たなトピックとして電子添付文書(e-ラベリング)を議論。日本でも添付文書の電子化がスタートすることを踏まえ、同会議でも各国代表によるタスクフォースを立ち上げ、アジア共通のプラットフォーム確立などに取り組んでいくことで合意した。

同会議は、新型コロナウイルス感染症の影響で初めてオンライン形式で開催された。規制・許可認可、新薬アクセス、創薬連携、価値リーナ方法での活用による利便性向上▽最新の添付文書情報へのアクセス向上に伴う医療従事者・患者の製

改正薬機法対応が「山場」

後発品ロードマップ改訂も

大阪府 石橋業務課長

大阪府業務課の法(薬機法)施行に伴うガバナンス強化について、「われわれが度について、「大きな山場」で、8月の改正医と捉え、スムーズに取り組んでいきたい」との考えを

品に対する理解向上、服薬遵守の強化によるより良い治療結果、健康状態改善の実現▽製品への紙の添付文

書封入廃止による紙資源の節約、エコへの貢献、上市へのリードタイム短縮、業

務削減▽電子化された添付文書のシェア、アジア地

域共通のe-ラベリングの強化によるヘルスケア分野でのデジタルトランスフォーメーションの一翼を担った貢献へのベネフィットについて合意。

今後、各国代表によるタスクフォースを立ち上げ、アジア地域におけるe-ラベリングの取り組みに関するポシジョンペーパー作成について検討していく予定である。

これらを実現するため、調査の実施やロードマップの作成に取り組んでいくとしている。

後発品の安心使用促進事業では、昨年度に後発品メーカーの不祥事に伴い、「後発品の信頼度」がかなり落ちている。患者からも先発品に戻したいという声がある。19年に設定した府の

を対象に、経営者との意見交換を2社で実施したことを説明。引き続き8月の法施行までにガバナンス強化などのヒアリングを複数社で継続していく。

8日に公表された府内43市町村のワクチン接種進捗状況も示された。高齢者接種は38市町村(88・4%)が「3カ月以内」の接種完了が可能としているものの、希望する住民全員に対する接種(一般接種含む)は5〜6カ月以内に完了できる見込みが17市町村(39・6%)にとどまる。

また、接種の実施方法は、ほぼ全ての市町村で決定済みで、高齢者、高齢者以外共にほとんどの市町村で集団・個別接種の両方を実施する予定という。

薬学教育評価「保留」の大学も

まで存在します。

入学定員を上回る合格者数と、実際に入学した

の低倍率の大学(九州保健福祉大学、松山大学)

入学者数との比、いわゆる歩留率(入学者/合格

者)は14年の41・5%から、20年の33・0%まで

低下しています。こちらにも、大学間の差異は存

在します。例えば、武蔵野大学は34・0%、近畿大学27・4%、松山大学30・1%、九州保健福祉大学26・9%となります。

04年法改正の際、衆・参両院で数多くの付帯決議がなされました。実務実習及び生涯学習充実、学費負担増対応、創薬人材育成等、現時点においても通用する重要な指摘と考へますが、その1項目「第三者評価体制の整備を進めること等により、高度化する薬剤師の職能を支える基礎教育及び実務で要求される知

識、技能、医療人としての倫理観、薬剤師としての責任感等が養えるような質の高い教育の維持向上を図るよう留意すること」との付帯決議を受け設立された一般社団法人薬学教育評価機構は、各大学における6年制薬学教育プログラムを評価し、各大学にフィードバックする事業「薬学教育評価」を行い、19年に全大学の評価を一巡しました。基準をクリアできず「評価保留」と判断された大学も存在しています。公的データなど信頼し得る公表データから、あえて私立大学薬学部

の質、教育の質、薬学生の質等の評価を行うとすれば、入学倍率、入学定員充足率、5年次進級率、最短就学期間(6年間)

を対象に、経営者との意見交換を2社で実施したことを説明。引き続き8月の法施行までにガバナンス強化などのヒアリングを複数社で継続していく。

8日に公表された府内43市町村のワクチン接種進捗状況も示された。高齢者接種は38市町村(88・4%)が「3カ月以内」の接種完了が可能としているものの、希望する住民全員に対する接種(一般接種含む)は5〜6カ月以内に完了できる見込みが17市町村(39・6%)にとどまる。

また、接種の実施方法は、ほぼ全ての市町村で決定済みで、高齢者、高齢者以外共にほとんどの市町村で集団・個別接種の両方を実施する予定という。

第12444号

(第三種郵便物認可)

薬事日報

2021(令和3)年4月16日 金曜日 (8)

APAC

添付文書電子化を初議論

アジアの共通基盤確立へ

第10回アジア製薬団体連携会議が13日にオンライン上で開かれた。今回、新たなトピックとして電子添付文書(e-ラベリング)を議論。日本でも添付文書の電子化がスタートすることを踏まえ、同会議でも各国代表によるタスクフォースを立ち上げ、アジア共通のプラットフォーム確立などに取り組んでいくことで合意した。

同会議は、新型コロナウイルス感染症の影響で初めてオンライン形式で開催された。規制・許可認可、新薬アクセス、創薬連携、価値リーナ方法での活用による利便性向上▽最新の添付文書情報へのアクセス向上に伴う医療従事者・患者の製

改正薬機法対応が「山場」

後発品ロードマップ改訂も

大阪府 石橋業務課長

大阪府業務課の法(薬機法)施行に伴うガバナンス強化について、「われわれが度について、「大きな山場」で、8月の改正医と捉え、スムーズに取り組んでいきたい」との考えを

品に対する理解向上、服薬遵守の強化によるより良い治療結果、健康状態改善の実現▽製品への紙の添付文

書封入廃止による紙資源の節約、エコへの貢献、上市へのリードタイム短縮、業

務削減▽電子化された添付文書のシェア、アジア地

域共通のe-ラベリングの強化によるヘルスケア分野でのデジタルトランスフォーメーションの一翼を担った貢献へのベネフィットについて合意。

今後、各国代表によるタスクフォースを立ち上げ、アジア地域におけるe-ラベリングの取り組みに関するポシジョンペーパー作成について検討していく予定である。

これらを実現するため、調査の実施やロードマップの作成に取り組んでいくとしている。

後発品の安心使用促進事業では、昨年度に後発品メーカーの不祥事に伴い、「後発品の信頼度」がかなり落ちている。患者からも先発品に戻したいという声がある。19年に設定した府の

を対象に、経営者との意見交換を2社で実施したことを説明。引き続き8月の法施行までにガバナンス強化などのヒアリングを複数社で継続していく。

8日に公表された府内43市町村のワクチン接種進捗状況も示された。高齢者接種は38市町村(88・4%)が「3カ月以内」の接種完了が可能としているものの、希望する住民全員に対する接種(一般接種含む)は5〜6カ月以内に完了できる見込みが17市町村(39・6%)にとどまる。

また、接種の実施方法は、ほぼ全ての市町村で決定済みで、高齢者、高齢者以外共にほとんどの市町村で集団・個別接種の両方を実施する予定という。

薬学教育評価「保留」の大学も

まで存在します。

入学定員を上回る合格者数と、実際に入学した

の低倍率の大学(九州保健福祉大学、松山大学)

入学者数との比、いわゆる歩留率(入学者/合格

者)は14年の41・5%から、20年の33・0%まで

低下しています。こちらにも、大学間の差異は存

在します。例えば、武蔵野大学は34・0%、近畿大学27・4%、松山大学30・1%、九州保健福祉大学26・9%となります。

04年法改正の際、衆・参両院で数多くの付帯決議がなされました。実務実習及び生涯学習充実、学費負担増対応、創薬人材育成等、現時点においても通用する重要な指摘と考へますが、その1項目「第三者評価体制の整備を進めること等により、高度化する薬剤師の職能を支える基礎教育及び実務で要求される知

識、技能、医療人としての倫理観、薬剤師としての責任感等が養えるような質の高い教育の維持向上を図るよう留意すること」との付帯決議を受け設立された一般社団法人薬学教育評価機構は、各大学における6年制薬学教育プログラムを評価し、各大学にフィードバックする事業「薬学教育評価」を行い、19年に全大学の評価を一巡しました。基準をクリアできず「評価保留」と判断された大学も存在しています。公的データなど信頼し得る公表データから、あえて私立大学薬学部

の質、教育の質、薬学生の質等の評価を行うとすれば、入学倍率、入学定員充足率、5年次進級率、最短就学期間(6年間)

を対象に、経営者との意見交換を2社で実施したことを説明。引き続き8月の法施行までにガバナンス強化などのヒアリングを複数社で継続していく。

8日に公表された府内43市町村のワクチン接種進捗状況も示された。高齢者接種は38市町村(88・4%)が「3カ月以内」の接種完了が可能としているものの、希望する住民全員に対する接種(一般接種含む)は5〜6カ月以内に完了できる見込みが17市町村(39・6%)にとどまる。

また、接種の実施方法は、ほぼ全ての市町村で決定済みで、高齢者、高齢者以外共にほとんどの市町村で集団・個別接種の両方を実施する予定という。

藤井もとゆきの

ひとり言

表 私立大学薬学部の入試状況

	定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
2011年	11,719	76,517	72,330	27,716	11,284
2012年	11,579	82,573	78,156	28,551	11,631
2013年	11,524	104,253	99,122	29,636	12,556
2014年	11,484	121,876	115,935	29,454	12,224
2015年	11,564	116,498	110,490	30,051	11,816
2016年	11,595	105,573	99,609	30,842	11,420
2017年	11,517	101,109	95,075	31,195	11,482
2018年	11,451	96,008	89,848	30,387	10,949
2019年	11,356	89,223	83,094	31,311	10,613
2020年	11,451	82,668	76,646	32,170	10,629

出典：日本私立学校振興・共済事業団 作成：藤井基之事務所

合格のカギは過去問による試験対策

令和3年版

全国登録販売者試験過去問正解

編集 株式会社ドーモ
B5判/343頁 / 定価 2,200円
(本体 2,000円 + 税 10%)令和2年度の試験問題と解答を網羅した過去問集！
全都道府県 10ブロック(全1,200問)収載。

☑ 試験問題の出題傾向を把握しよう！

実際に出题された問題を解くことで、「よく出題される箇所」や「ポイントとなる部分」を掴むことができます。

☑ 繰り返し解いて試験慣れしよう！

問題は各ブロックごとにまとめているので、10回分の模擬試験としても活用できます。本番同様に時間を計って取り組み試験慣れしよう。



詳細はこちら

薬事日報社 書籍のご注文は、オンラインショップ(<https://yakuji-shop.jp/>)または、書籍注文FAX03-3866-8408まで。

当ファイルの著作権は(株)薬事日報社またはコンテンツ提供者に帰属します。当ファイル(印刷物含む)の利用は私的利用の範囲内に限られ、それ以外の無断複製・無断転載・無断引用はご遠慮ください。当ファイル(印刷物含む)を社内資料、営業資料などでご利用される場合はご相談ください。

株式会社薬事日報社 TEL:03-3862-2141 shinbun@yakuji.co.jp <http://www.yakuji.co.jp/>